

## 消防ポンプ自動車（消防団）仕様書

### 第1 総則

本仕様書は、生駒市消防本部（以下「消防本部」という。）が、令和4年度に購入する、消防ポンプ自動車（消防団）（以下「団ポンプ車」という。）の仕様について定める。

- 1 団ポンプ車は緊急自動車として、道路運送車両法及び道路運送車両法の保安基準等の関係法規等に適合するものであること。
- 2 製作は、本仕様書によるもののほか、消防ポンプ自動車の安全基準、消防力強化支援事業補助金交付要綱、関係法令等に適合又は準ずるものとし、緊急自動車として承認が得られ、かつ、日本消防検定協会の受託評価に適合するものであること。
- 3 団ポンプ車の艤装及び装備品等は、指示があるものを除き全て新規製品で最新型とすること。
- 4 車両の艤装材料、装備品及び積載品の同等品は可能とするが、同等品以上を使用する場合は、事前に本体及び仕様を示す資料を消防本部に提示し、審査を受けること。  
なお、同等品の解釈は、消防本部の判断によるものとする。
- 5 契約に当たっては、本仕様書を十分検討の上、契約するものとし、契約後における一切の疑義は、全て消防本部の解釈に従うこと。
- 6 製作の進捗に伴い、内容に疑義が生じた場合又は仕様の変更が必要なときは、消防本部とその都度速やかに協議し、消防本部の承認を得ること
- 7 受注者は、団ポンプ車の納入までに生じたいかなる事故に対しても、その責任を負うものとする。
- 8 受注者は、中間検査等において不適合と認められた箇所及び部品については、直ちに無償で取替又は補修を行うこと。
- 9 団ポンプ車は、引渡日から1年以内に設計製作の不良等に起因する事故又は障害等が発生した場合は、直ちに無償で修理等を行うこと。なお、特殊装置及び資機材等については、各メーカーの保証した期間とする。ただし、特に重大な故障又は欠陥については、前記期間を超えた場合であっても、無償で修理等を行うこと。
- 10 団ポンプ車の登録手続、製作に関連する費用及び廃棄車両の抹消手続等に要する一切の費用は受注者が負担すること。ただし、自動車重量税、自賠責保険料及びリサイクル料は、消防本部が負担する。
- 11 製作に当たり契約期間を厳守するため、延納が発生しないよう工程の設定及び進捗状況の管理を行うこと。
- 12 契約後の打合せにおいて、本仕様書に記載のない事項や軽微な変更については、双方協議し、消防本部の指示に従い、受注者の負担で製作及び積載すること。また、受注者は、打合せ議事録を作成すること。
- 13 団ポンプ車の納入に際しては、中間検査及び完成検査等を行うものとする。

- 14 団ポンプ車の納入後、消防本部が指定時期に操作・取扱の技術指導を行うこと。
- 15 本仕様書に定めのない事項であっても、団ポンプ車の機能上、当然具備しなければならないものについては、これを充足すること。

## 第2 製作上の注意事項

製作については、消防ポンプ自動車（CD-1型）として最適な構造で、その機能を十分発揮するため、次の点に留意すること。

- 1 令和4年に国内の自動車メーカーが生産する消防車専用シャシを使用し、公表した標準取付品が装備されていること。
- 2 製作に使用する材料は、強度及び耐久性を有するもので、全て新規製品で最新型とすること。
- 3 車両全般にわたり防水処理及び防錆処理を施し、長期間の耐久性を有すること。
- 4 接続部は、振動等に十分対応できるものとし、切断部及び材料の粗面等の処理を完全に行い安全性を確保すること。
- 5 各部の点検、清掃、給油及び注視等の管理並びに修理が容易に行える構造とすること。
- 6 塗装剥離及び器具破損のおそれのある場所は、アルミプロテクター等で適切な保護対策を行うこと。
- 7 各装置及び部品等の取付けは、ボルト締めを原則とする。
- 8 全体的に重量軽減を図り、前後左右の荷重バランスを十分考慮すること。
- 9 シャシ及び艤装に関しては、寒冷地仕様での製作とすること。

## 第3 提出書類

- 1 受注者は、団ポンプ車の製作に先立ち消防本部と細部の打合せを行い、十分協議の上、次に掲げる書類（A4製本版）各3部を消防本部に提出し、承認を得ること。
  - (1) 主要諸元表
  - (2) 外観5面図
  - (3) 艤装承認図
  - (4) シャシ諸元表
  - (5) シャシ2面図
  - (6) 資機材収納架装図（キャビン架装図含む。）
  - (7) ポンプ装置及び配管図
  - (8) 取付品及び付属品一覧表
  - (9) 使用材料明細書
  - (10) 製作工程表
  - (11) その他消防本部が指示するもの。

2 団ポンプ車の完成納入時に、次に掲げる書類（A 4 製本版）各 3 部を消防本部に提出すること。

- (1) 完成外観図
- (2) シャシ検査表（車検証の写し）
- (3) 日本消防検定協会受託評価プレートの写し
- (4) 取扱説明書及び保証書
- (5) 緊急自動車登録後の写真（前後左右・上面）
- (6) 製作工程ごとの写真
- (7) その他消防本部が指示するもの。

#### 第 4 シャシ関係

##### 1 主要諸元

- |                 |                                 |
|-----------------|---------------------------------|
| (1) 型式          | 水冷 4 サイクル直列 4 シリンダディーゼル         |
| (2) 総排気量        | 4 L 以上                          |
| (3) 出力          | 110KW {150PS} /2380rpm（消防用検定出力） |
| (4) 仕様          | 4 ドアダブルキャブ付消防シャシ（3 トン級）         |
| (5) 駆動方式        | 4 × 2                           |
| (6) 変速機         | オートトランスミッション（前進 6 段後進 1 段）      |
| (7) 全長          | 5,900 mm 以下                     |
| (8) 全幅          | 1,950 mm 以下                     |
| (9) 全高          | 2,900 mm 以下                     |
| (10) ホイールベース    | 2,825 mm                        |
| (11) 乗車定員       | 6 人（前 3 人、後 3 人）                |
| (12) 車両総重量      | 7,300 kg 未満                     |
| (13) オイルパンヒーター  | AC100V-500W（3 極コンセント、キャップ付）     |
| (14) エンジンアワーメータ |                                 |
| (15) エンジン油温計    |                                 |
| (16) エンジン回転計    |                                 |
| (17) PTO        | フライホイール PTO                     |
| (18) ステアリング     | パワーステアリング                       |
| (19) バッテリー×個数   | 105E41R×2（引出し式）                 |
| (20) オルタネータ     | 24V-80A                         |
| (21) 燃料タンク      | 70L                             |
| (22) タイヤ        | 205/85R16（ラジアルタイヤ、ホイール付）        |

##### 2 装備品

- (1) 電動格納式ミラー（熱線入り）

- (2) 電動キャブチルト装置（支え棒付）
- (3) 後退警報装置
- (4) バッテリーメインスイッチ（LED 確認灯付）
- (5) マニュアルエアコン（純正品）
- (6) SRS エアバック（運転席、助手席）
- (7) パワーウインドウ（全ドア）
- (8) 集中ドアロック
- (9) AM・FM ラジオ（AUX 端子付）
- (10) バックアイカメラ
- (11) 全自動バッテリー管理装置（ずぼら充電器）
- (12) LED ヘッドランプ
- (13) LED フォグランプ
- (14) フロントグリル（ボディ同色）
- (15) 牽引用フック（前後）
- (16) サンバイザー（左右）
- (17) サイドバイザー（全ドア、樹脂製）
- (18) 泥除けゴム（全輪）
- (19) シート（超防汚シート）
- (20) ルームミラー型バックモニター（バックアイカメラ連動）

### 3 付属品

- (1) フロアーマット（前後席）
- (2) スペアタイヤ（205/85R16、ホイール付）
- (3) アルミプロテクター（ステップ蹴込み部、ホイールアーチ、リアドア開口部）
- (4) タイヤチェーン
- (5) ブースターケーブル
- (6) 標準工具
- (7) 非常信号灯
- (8) 非常停止板
- (9) 牽引ワイヤー

## 第5 艀装

### 1 キャビンの艀装

- (1) 消防団章（危害防止板付）をキャビン前面に取付けること。
- (2) 後席乗降用ステップは、サイドステップを延長し、可能な限りステップ幅を確保するとともに、バッテリー引出装置（サイドステッパー一体型）及び燃料タンク（油種表示付き）を設け、バッテリーの点検、交換及び燃料の補給が容易に行えるよう

- にすること。なお、バッテリーの端子部分及び上面に保護カバー等を設けること。
- (3) キャビン前面上部 2 箇所及び左右ドア部分 4 箇所にアシストグリップ（乗降用）を設けること。
  - (4) キャビンルーフ前側に散光式赤色警光灯（標識灯、電動サイレン、スピーカー内臓）を取付けること。
  - (5) キャビン前面に赤色点滅灯を体裁よく 2 個取付け、散光式赤色警光灯と連動させること。
  - (6) 乗車席は、前席 3 人、後席 3 人の計 6 人とし、全席にシートベルトを取付けること。
  - (7) オーバーヘッドコンソールを設け、電子サイレンアンプ等の別途指示する電装品を集約して取付けること。（詳細は別途協議する。）
  - (8) 前席と後席の間にステンレス製手摺棒を設け S 字フック（ビニールチューブ巻き）を 6 個及び地図等を収納するボックス（A3 サイズ）を 1 個設けること。
  - (9) キャビン内に艤装メインスイッチ（確認灯付き）を設けること。なお、艤装メインスイッチはバッテリーメイン連動とする。
  - (10) キャビン天井部に室内灯（LED）を取付けること。
  - (11) キャビン内助手席側にマップランプ（LED）を 1 個設けること。
  - (12) 過充電防止装置付バッテリー充電管理器（ずぼら充電器）及びインバーターを後部座席下部に設け、外部電源の引込みはオイルパンヒーターコンセントと兼用の防水蓋付マグネットコンセントとすること。なお、キャビン内に外部電源コンセントを 2 口以上設けること。また、オイルパンヒーターには自動切換装置付きの切替ブレーカーを設けること。
  - (13) キャビン内に大型デジタル時計を設けること。
  - (14) キャビン内後席上部にフックを 5 個設けること。

## 2 車体艤装

- (1) 車体は、前方に水槽を備え、ポンプ室、資機材収納庫で構成され、車体側面を嵩上した構造とし、左右両側面でポンプの操作ができること。
- (2) 車体は、堅牢で十分な強度及び安定度を有し、機動性、耐久性、腐食性及び重量バランスに優れたもので、常時登録された車両総重量の状態において十分耐え得るものであること。また、車体は軽量で、十分な耐久性を有する構造とするため、サブフレームを除き全て GFRP（ガラス繊維強化プラスチック）を使用したモノコックボディとし、総合的な重量軽減及び重量バランスに配慮すること。
- (3) GFRP 材の使用に当たり強度を担保するため、フレームへの固定については、車体にかかる応力を緩和する装置を設けること。
- (4) 骨組みは、完全に自立する構造とし、側板、腰板等に直接大きな荷重がかからない構造とすること。

- (5) ボディに取付ける部品の取付ボルト及びビス類は、すべてステンレス製とし、貫通部分で危害を及ぼす部分は、袋ナットを使用すること。
- (6) 各ステップ類は、すべてアルミ縞板を使用すること。
- (7) ポンプ室上部に資機材収納庫を設け、扉はアルミシャッター扉とし、内部は必要に応じて仕切等を使用し効率よくホース等の資機材が積載できること。なお、資機材積載箇所には、脱落防止措置を施すこと。
- (8) ポンプ室後部は資機材収納庫とし、扉はアルミシャッター扉で内部に棚等を設け、電動ウインチ（別途指示）及び積載品等を取付・収納できる構造とすること。なお、資機材等を積載する箇所には、脱落防止措置を施すこと。また、消防本部の指定する位置にステップを設けること。（構造は別途協議）
- (9) 車体左側側面（キャビン後席ステップ後方）に扉付収納庫を設けること。
- (10) 側板とステップの交わる部分に水が滞留しない構造とし、錆の発生を防止するため十分な防錆処置を施すこと。
- (11) ステップは、端部周辺を折り曲げ、切断面の仕上げ処理をし、身体に危害が及ばない仕上げにすること。
- (12) 坂道勾配を考慮し、アプローチアングル及びデパーチャーアングルを確保すること。
- (13) ポンプ室上部には、内部の点検が可能な点検口を設けること。
- (14) ポンプ室両側面は、吸水、中継及び吐水コック等の補修が容易に行える構造とすること。
- (15) 蹴り込み部等の塗装剥離のおそれがある箇所には、ステンレスまたはアルミ板等の保護板を貼り付けること。
- (16) 車体上部に折畳式かぎ付きはしごを積載できるローラー引出式梯子積載装置を設けること。
- (17) 車体左側板吸管上部にとび口2本が積載できる上下可動式の取付金具を設けること。
- (18) 吸管を各1本両側板に輪状に固定（中央上部の吸管固定金具は跳上式）し、吸管巻内に別途指示する資機材を取付けること。
- (19) 後部シャッター内左右に管檜を立てて積載できる取付金具を設けること。
- (20) 車体上部へ昇降用の折畳式梯子を設けること。
- (21) 左右吸管取付下部ステップのテールエンドは、活動時の危害防止及び走行時の安全性を考慮し絞りこむこと。
- (22) 車体左右に赤色点滅灯を各1個体裁よく取付け、散光式赤色警光灯と連動させること。
- (23) 車体後部に赤色点滅灯（保護枠付）を2個体裁よく取付け、散光式赤色警光灯と連動させること。

- (24) 車体左右及び後部に照明灯（作業灯）を各1個体裁よく取付け、スイッチを個別に設けること。
- (25) 車体の操作しやすい位置に照明灯（伸縮旋回可能型）を取付け、スイッチを直近の操作しやすい位置に設けること。
- (26) 尾灯、停止灯及び後退灯を車体後部左右両側に取り付けること。
- (27) 車体左右フェンダー付近に路肩灯及び車体後部左右に車幅灯を取付け、スモール灯と連動させること。
- (28) 各収納庫内には、シャッター等の扉の開閉に連動して点灯する照明灯（LED）を取付けること。

## 第6 ポンプ装置

### 1 水ポンプ

- (1) 高圧二段バランスタービンポンプ（インデューサー付）とし、ポンプ性能は A-2 級とすること。
  - ア 規格放水量 0,85Mpa で、2,500L/min 以上
  - イ 高圧放水量 1.4Mpa で、2,100L/min 以上
- (2) 排水装置は、電動式とし PTO スイッチに連動して作動すること。また、非常用 PTO を使用することで、エンジン停止時にドレンの開放をストップできる構造とすること。
- (3) 軸封部は、真空漏れ発生時に増し締めまたは交換が容易に行え、故障時のコストが安価なグラウンドパッキン方式とすること。

### 2 動力伝達装置

- (1) シヤシメーカー純正品の伝達装置（P・T・0）により主ポンプへ動力伝達を行い、運転席及びポンプ操作部からのスイッチ操作により容易に動力の接・断の切り替えを可能とすること。
- (2) P・T・0 が作動中にシフトレバーを操作した際、警告等を発する安全対策を講ずること。

### 3 真空ポンプ

- (1) 偏心ロータリー無給油式5翼で真空ポンプ1機の排気量1,275cc以上とすること。
- (2) 規定の吸水管（75mm×10m）を使用し試験をおこなったとき、試験時大気圧の84%に達する時間が15秒以内とする。
- (3) 漏気は30秒間に10mm以内とする。
- (4) 真空ポンプの耐久性向上のため、主ポンプと真空ポンプの間に汽水分離器を設け、水及び泥などが進入しない構造とすること。

### 4 自動揚水装置

真空ポンプの操作は、計器盤直近に設けた操作盤にておこない、作動ボタン ON によ

り自動的に真空ポンプ駆動に適正な回転まで上昇し、揚水完了と同時にフロースイッチ（圧力検知は不可）により自動停止しアイドル状態にもどる構造とすること。  
なお、操作盤は各メーカー固有のものとする。

#### 5 ポンプ操作装置

ポンプ操作装置の表示画面は液晶パネル式とし、「真空ポンプ作動状況」「各放口・中継口・吸水口の開閉状況」「揚水状況」「エゼクターの開閉状況」「流量及び積算流量」「ポンプ回転」等の表示が容易に確認でき、水の流れが容易に確認できる図形式とすること。なお、主要な操作スイッチ（自動揚水、非常用真空、自動調圧、アイドルスイッチ等）は操作が確実な押しボタン式とすること。

#### 6 ポンプスロットル

- (1) ポンプスロットルは電子スロットルとし、スロットルの使用状況が把握できるような液晶モニターに表示できること。
- (2) ポンプスロットルは、誤作動を防止するため左右ともに右回転でスロットルアップするものとする。

#### 7 自動調圧装置

ポンプ圧力を任意に設定し、設定圧力以下になった場合は設定圧力まで圧力を上昇させ、設定圧力以上になった場合は設定圧力まで圧力を下げる任意圧力安定機能、放水停止時及び緊急時等に押すとエンジン回転がアイドルまで降下するアイドル機能設けること。

#### 8 吸水口

内径 75mm 以上のボールコックとし、ポンプ室両側に各 1 個設けスィーベルエルボを介して常時吸管（75 mm×10m）を接続固定すること。

#### 9 呼水装置

確認窓付エゼクター装置で放水量 1,000L/0.5MPa（吸水高さ 3.0m）のとき、呼水装置のバルブを全開しても落水せず 60 秒以内に揚水を完了するものとする。

#### 10 放水口

内径 65mm ボールコックとし、ポンプ室両側に各 2 個設け、前方側をスィーベル媒介とすること。

#### 11 中継口

内径 65 mm ボールコックとし、ポンプ室両側に各 1 個設けること。

#### 12 水抜き

主ポンプ及び吸水口並びに中継口の水抜きは PT0 作動に連動させること。なお、放水口の排水装置は左右に各 1 個、手動バルブを設けること。

#### 13 計器

- (1) ポンプ圧力計及びポンプ連成計（ブルトン管式・バックライト付・耐振型・リターン式）を左右操作面に斜め 30 度程度のオーバーハング型にて設けること。

(2) ポンプ操作面左右には、有効に照射できる LED 式計器灯を設けること。

#### 14 冷却装置

冷却水装置はポンプ吐水側から、ポンプ吸水側へ循環する還流式とする。冷却水は 2 系統とし、それぞれに操作バルブ、清掃が容易に出来るストレーナ及び、通水が目視できるカップを設けること。

#### 15 給脂装置

ポンプグランド部へ給脂出来るグリスポンプを、ポンプ左側の適当な位置に設けること。

#### 16 不凍液注入装置

ポンプ及び真空ポンプ配管の凍結防止のため、不凍液注入装置（カプラー式）を設けること。

### 第7 水槽

1 水槽は 1,000L 以上の水槽とし、振動及び衝撃等により損傷及び緩み等が生じないように台車に固定し設置すること。なお、水槽上部にはマンホール、内部には水の動揺を防止する防波板を設け、0.03MPa の水圧に対し、変形及び漏れが発生しないこと。

2 構造は次のとおりとする。

(1) 水槽から主ポンプへの吸水連結管は内径 75 mm 以上とし、ボールコックを設け車体両側で操作できること。

(2) 水槽は、自己補給が可能であり、主ポンプ吐水側と内径 40 mm 以上でボールコックを介して接続し、車体両側で操作できること。

(3) 水槽には、補給口（65 mm 差込メス金具・タンク停止弁付）を水槽の左右側面に各 1 箇所設けること。

(4) 逆流によるウォーターハンマーから水槽を保護するため、タンク吸水コックは電動コックを使用し、吸水口及び中継口とタンク吸水コックが同時に開かないよう制御できるものとする。

(5) 水量計を左右に設けること。（構造は別途指示）

(6) 水槽には、オーバーフローパイプ及び排水バルブ又はコックを取付けること。

(7) 水槽内部は、清掃及び補修が容易な構造であること。

(8) 水槽水取出口を左右の補給口付近に各 1 箇所設けること。

### 第8 電装品及び配線

1 電装品の取付け及び配線工事は、それぞれの電装品の容量に見合った配線及びヒューズを使用し、ヒューズボックスは艀装用として独立したものとすること。

2 配線は、次のとおりとし、系統別に色分けすること。

(1) 配線貫通部は全てグローメット等で配線を保護すること。

- (2) ヒューズボックスは専用とし、系統別名称及び容量を記入すること。
- (3) 機器類付近の接続部は圧着端子とし、端子にはビニールカバーを取付けること。
- (4) 車体外部に露出する配線は、防水及び被覆保護のため、ビニールカバー付きとする。

## 第9 塗装及び記入文字

- 1 ステンレス及びアルミ以外の金属部分は、全て塗装あるいはメッキを施し、露出部分がないようにすること。
- 2 ボディに取付けられた部分は、塗装前に一旦取外し塗装後再度取付け、取付部の未塗装部分をなくすようにすること。
- 3 塗装要領
  - (1) 車両の外側は、十分に素地調整を行った後、防錆加工を施し、執念に3回以上吹付け、磨き、艶出し仕上げを行うこと。
  - (2) その他の塗装する部分は、十分に素地調整を行った後、上塗りを3回以上行うこと。
  - (3) 車両の外側は朱色（消防車専用色）とする。（シャッター含む。）
  - (4) 車両の下回りを黒色及びアンダーコート仕上げとすること。
  - (5) その他、塗装が必要な個所の塗装色は別途打合せとする。
- 4 完成車に次の記入文字及び消防本部が指示するオリジナルシールを貼付けること。  
なお、オリジナルシールのデザインについては、別途指示する。

場所	文字等	色	字体	反射
キャブ左右ドア（フロント）	生駒市消防団紋章	白色		有
キャブ左右ドア（リア）	生駒市消防団	白色	丸ゴシック	有
キャブ左右ドア（フロント下部）	機動1	白色	丸ゴシック	有
キャブ左右ドア	ストライプ	シルバー	100mm 幅	
キャブフロント助手席前	機動第1分団	白色	丸ゴシック	有
リアシャッター	機動第1分団	白色	丸ゴシック	
標識灯	機動1	黒色	丸ゴシック	
放水口（右側面前から1, 2） （左側面前から3, 4）	1, 2, 3, 4	白色	丸ゴシック	有

## 第10 検査

本仕様書に基づき、消防本部の職員が立会いの上、次のとおり検査を行う。

- 1 実施手続  
実施の14日前までに文書をもって行うこと。
- 2 実施立会

設計担当者が必ず立会うこと。

### 3 中間検査

製作工程中の適切な時期に受注者製作工場にて実施する。

- (1) 材料検査
- (2) 部品検査
- (3) 組立状況検査

### 4 完成検査

艀装が完了したときに受注者製作工場にて実施する。

- (1) 艀装全体の検査
- (2) 中間検査時の指示事項に基づく検査
- (3) 装備品、附属品、積載品の員数及び機能検査
- (4) 塗装及び記入文字の配列等についての検査
- (5) その他発注者が必要とする検査

### 5 検収

発注者は、車両が納入されたとき本仕様書及び承認図書に基づき検収を行う。

- 6 発注者及び受注者がそれぞれ必要と認めるときは、特別検査を実施できるものとし、実施にあたっては事前に相互連絡を取り合うこと。

## 第11 補足

- 1 現有車両に取付けられているドライブレコーダーを団ポンプ車に移設すること。
- 2 受注者は、消防本部の指示する時期に廃棄車両の抹消登録を行うこと。
- 3 廃棄車両に艀装されている赤色警光灯、赤色点滅灯、サイレンアンプ及び記入文字等を車両納入日以降で取外すこと。
- 4 廃棄車両は売却予定であるが、売却できなかった場合は、受注者が車両を引取り廃車処分すること。引取りについては、消防本部が指示する時期とし、廃車及び抹消登録を行った上で抹消登録証明書又は当該車両をスクラップ処理したことが判明できる書類を後日、消防本部へ提出すること。
- 5 廃棄資機材について、消防本部が指定する資機材を引取り確実に廃棄処理すること。
- 6 団ポンプ車の納期は、令和5年3月10日までとするが、早期納入に努めること。なお、納入場所は消防本部とする。
- 7 団ポンプ車は、各部清掃の上、納入すること。
- 8 団ポンプ車納入後、1ヶ月又は1,000km点検時のオイル交換等は無償とすること。

### 取付品及び取付装置

No.	品名	型式	数量
1	ポンプ圧力計	100mm 丸型 (耐振型)	2 個
2	ポンプ連成計	100mm 丸型 (リタード型、耐振型)	2 個
3	エンジン回転計	シャシ標準	1 個
4	エンジン油温計	シャシ標準	1 個
5	赤色警光灯	NF-ML-VA2M-HA2 (大阪サイレン)	1 式
6	赤色点滅灯	LFA-100 (前後) (大阪サイレン) 後面保護枠付	各 2 個
7	電子サイレン	TSK-D152 (大阪サイレン) 音声合成付	1 式
8	照明器具	SP-Q14 (車体前方) 伸縮ポール付	1 式
9	後退警報器	標準品	1 式
10	標識灯	赤色警光灯内蔵	1 個

### 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

No.	品名	型式	数量
1	真空・揚水表示ディスプレイ	右計器盤	
2	ポンプ回転計	ポンプ操作ディスプレイ内	1 式
3	流量計	ポンプ操作ディスプレイ内 (左右各 1 個)	1 式
4	積算流量計	ポンプ操作ディスプレイ内	1 式
5	ポンプ使用時間計	ポンプ操作ディスプレイ内	1 式
6	キャブチルト装置		1 式
7	オイルパンヒーター	キャブタイヤコード 10m 付 (マグネット式)	1 式
8	不凍液注入装置		1 式
9	作業灯	LIA-200 (大阪サイレン) 左右及び後 各 1 個	3 個
10	反射材	再帰性に富んだ反射材	1 式

### 備えなければならない附属品

No.	品名	型式	数量
1	吸水管	75mm×10m (AC 金具・白直線入り) 吸口エルボ付 LF-RS (オーサカゴム)	2 本

2	吸口ストレーナ	プラスチック製 75 mm用	2個
3	吸管ストレーナ	プラスチック製	2個
4	吸管ちりよけかご	プラスチック製 黄色	2個
5	吸管まくら木	ゴム製 75 mm用	2個
6	吸管ロープ	SL ロープ φ10mm×15m	2本
7	中継口ストレーナ	プラスチック製	2個
8	消火栓媒介金具	75mm ネジメス×65mm 差込メス	1個
9	中継口媒介金具	65mm ネジメス×65mm 差込メス	2個
10	消火栓開閉金具	1200mm	1丁
11	消火栓キー	消防本部が指定	2本
12	吸管スパナ	FCD 製 左右各1丁	2丁
13	管そう	PP-65A・EXS・L (YONE) 呼称 65 熱収縮グリップ バンド付	2本
14	ノズル (替口)	φ20、φ23、φ26 各1個	3個
15	ノズル	NV-65PCX・S (プロコンペ) (YONE)	2個
16	放口媒介金具	65mm メスネジ×65mm 差込オス (AN-65)	4個
17	とび口	1800mm	2本
18	金てこ	800mm	1本
19	剣先スコップ	木製柄	1本
20	はしご	鋼管製 3600mm 折畳式かぎ付き K-1 (関東梯子)	1脚
21	車輪止め	ゴム製	2個
22	消火器	ABC 粉末 6 kg 型自動車用	1本
23	ポンプ工具		1式
24	ホース	65mm×20m (袴、文字入れ) 白 25、青 5、緑 5	35本

軽微な変更として備えることができる附属品

No.	品名	型式	数量
1	タイヤチェーン	シングルバンド	1式
2	分岐管	WB-65・65	1個
3	ホースブリッジ	コンパクトブリッジ (大阪サイレン CB450)	1組

4	ワイヤー	牽引用ワイヤー 12mm×5m	1本
5	照明器具	ポータブルシーンライト PSL3600 (充電用コード、ショルダーベルト付)	1式
6	コードリール	30m (ハタヤ)	1個
7	発電機	EU9i (ホンダ)	1個
8	ホースバッグ	FS1型 (FS JAPAN) ネームプリント付	2袋
9	斧		1本
10	掛矢		1本
11	スタンドパイプ	PS-65・1000 (単口引上式)	1本

その他附属品

No.	品名	型式	数量
1	電動ウインチ	ラムゼイ PATRIOT PROFILE6000 (R59) (リモコンスイッチ R65 付)	1式
2	低水位ストレーナ	D75S 自在接手型ゴミ取りネット付 (5枚セット) 取付ブラケット含む	1式
3	背負式消火水のう	ジェットシューターEV	5個
4	同径媒介金具	65mm 差込メス差込メス 65mm 差込オス差込オス	各1個
5	拡声器	ER1106S TOA6W	1個
6	バッテリー管理器	ずぼら充電器	1式
7	冷却水ストレーナ キャップ用スパナ		1丁
8	泥除けゴム		4枚
9	オイルポット		1個
10	工具	TONE K700	1式
11	レンジャーロープ	三つ打ち、12mm、200m/巻	1箱
12	運転キー		4本
13	シャッターキー		4本
14	補修用ラッカー	赤、黒	各1個